

学校法人 久留米工業大学 プレスリリース

 久留米工業大学

 祐誠高等学校

 専門
学校 久留米自動車工科大学校

 School corporation Kurume Drivers School
久留米自動車学校

学 校 名 等	久留米工業大学 インテリジェント・モビリティ研究所
タ イ ト ル	対話可能な自動運転パートナーモビリティのデモ走行

久留米工業大学インテリジェント・モビリティ研究所（IML）は、（株）コンピュータサイエンス研究所や（株）ゼンリンデータコム、WHILL（株）などと協力して、障がいや高齢で移動が困難な方が介助者なしで移動を楽しめる、対話可能なパートナーモビリティ（自動運転の車イス）の開発を進めてきました。

このたび、全国に先駆けて基本的な対話機能と自動運転のシステム（インテリジェント・モビリティ・システム）の開発が終わったため、対話による自動運転という次世代モビリティのデモ走行（公園での実証試験）を皆さんにご披露したく存じます。

今後は、移動困難者の支援で先進的な取り組みをしてきた久留米市介護福祉サービス事業者協議会と連携して観光施設や商店街、博物館などで実地検証を行い、パートナーモビリティを活用した新たな福祉モデルの全国的な社会実装を目指して研究開発を進めます。

ご多忙とは存じますが、ぜひともお集まりいただけますよう、よろしくお願いいたします。

日 時 : 平成 29 年 8 月 21 日（月） 10:00 ～ 11:30

場 所 : 久留米市役所 9F レクルーム

概 要 : プロジェクト説明後、市役所東側の両替町公園で車両のデモ走行を行います
（対話操作による公園入口～商工会議所の自動運転、人工知能による障害物認識）

協力企業 : （株）コンピュータサイエンス研究所、（株）ゼンリンデータコム
WHILL（株）、QB キャピタル

協力団体 : 久留米市介護福祉サービス事業者協議会、久留米商工会議所

協力自治体 : 久留米市

特 徴 : ①個人所有のスマート端末で対話操作が可能
②博物館や商店街、観光地などの施設内を自動運転でエスコート
③トイレなどの緊急時にも対応
④人工知能を用いた画像処理システムで障害物との衝突を回避
⑤介助者の負担が軽減し、利用者もより気軽に外出が可能に
⑥移動困な方だけでなく、幅広い方の利用も想定

担当者	インテリジェント・モビリティ研究所 所長 東 大輔（あずま だいすけ）	連絡先	0942-22-2345（代表） azuma@kurume-it.ac.jp
-----	--	-----	---

持ち込み日
平成 年 月 日

学校法人 久留米工業大学 プレスリリース

 久留米工業大学

 祐誠高等学校

 久留米自動車工科大学校

 久留米自動車学校

< 参考資料 >

1. プロジェクト説明図



2. デモ走行ルート



持ち込み日
平成 年 月 日